

令和5年度 評価規準

教科	国語	学年	第3学年
----	----	----	------

江戸川区立南小岩第二小学校

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ことばに親しもう	4	・声に出して読んだり、わかりやすく話したりすることや、内容を聞き取ったりすることを楽しみ、国語学習への意欲をもつ。	・相手を見て話したり聞いたりしているとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。 ・文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。	・「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 ・「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。	・進んで日常生活の中から話題を決め、学習の見通しをもって情報を集め、自身のことを紹介し合おうとしている。 ・進んで登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像し、学習課題に沿って工夫して音読しようとしている。
ばめんのつながりに気をつけて読もう	9	・登場人物の行動や気持ちを思い浮かべながら読み、物語の続きを予想する。	・主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。 ・幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。	・「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。 ・「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。 ・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し	・進んで登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し、学習の見通しをもって考えたことを友達と紹介し合おうとしている。

令和5年度 評価規準

「発見ノート」を作ろう	3	毎日の生活の中での発見や不思議に思ったことなどを「発見ノート」に書く。	・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。	・「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。	・積極的に伝えたいことを明確にし、学習の見通しをもって「発見ノート」を作ろうとしている。
国語辞典の引き方	2	・国語辞典の引き方を理解し、辞典を活用する。	・比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。		・積極的に辞書や事典の使い方を理解し、学習課題に沿って国語辞典を活用しようとしている。
すじみちを立てて発表しよう	6	・中心点をはっきりさせたり、理由を添えたりして自分の宝物を紹介し、友達の意見や感想をもとによりよい発表にする。	・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。	・「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるように話の構成を考えている。 ・「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。	・粘り強く話の構成を考え、今までの学習を生かして自分の宝物を紹介しようとしている。

令和5年度 評価規準

聞いてさがそう	2	・大事なことは何かを考えて、メモを取りながら道順の説明を聞く。	・比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解使っている。	・「話すこと・聞くこと」において、必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもっている。	・進んで必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、学習の見通しをもって情報を集めようとしている。
漢字の広場	4	・新しく学ぶ漢字や既習の漢字を使って漢字学習ノートを作る。 ・絵を見て想像したことをもとに、2年生で学んだ漢字などを使って文を書く。	・前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。	・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。	・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって「漢字学習ノート」を作ろうとしている。 ・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。
だんらくの要点をつかもう	12	・段落の要点に気をつけて読み、わかったことや大事なことをまとめる。	・主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。 ・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。	・「読むこと」において、段落相互の關係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との關係などについて、叙述を基に捉えている。 ・「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。 ・「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の關係に注意したりして、	・粘り強く、目的を意識して、中心となる語や文を見付け、学習課題に沿って要点をまとめようとしている。

令和5年度 評価規準

俳句に親しむ	4	・俳句を声に出して読み、言葉のリズムにふれる。	・易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。	・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。	・進んで易しい文語調の俳句を音読したり暗唱したりするなどし、学習の見通しをもって言葉の響きやリズムに親しもうとしている。
しりょうを集めて活用しよう	13	・本の仕組みやつくりを知り、それをもとに知りたいことに応じた本を探して読み、必要な事柄を「読書カード」に記録する。 ・知りたい情報を見つけるための方法を知り、それをもとに目的に応じた本を探して読み、必要な事柄を「読書カード」に記録する。 ・図や資料を使って、生き物の特徴を比べて書く。	・比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。 ・主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。	・「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。 ・「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落	・積極的に、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約し、学習課題に沿って分かったことを説明しようとしている。 ・粘り強く文章の構成を考え、学習の見通しをもって説明する文章を書こうとしている。
漢字の広場	4	・漢字の音と訓について理解する。 ・絵を見て想像したことをもとに、2年生で学んだ漢字などを使って文を書く。	・前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。	・「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。	・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習課題に沿って、漢字の「音」と「訓」について知り、正しく使おうとしている。 ・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵の中の言葉を使って文を書こうとしている。

令和5年度 評価規準

登場人物のせいかくを考えながら読もう	9	・登場人物の性格について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像し、学習の見通しをもって物語の感想を書く	・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。	・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 ・「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。 ・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。 ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。	・進んで登場人物の性格について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像し、学習の見通しをもって物語の感想を書こうとしている。
きせつの言葉を集めよう	1	・俳句には「季語」が読み込まれていることを知り、季節に係る言葉を集める。	・長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使っている。	・「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。	・積極的に、長い間使われてきた季節を表す言葉の意味を知り、学習課題に沿って季節の言葉を集めようとしている。
よく見て、話し合おう	1	・写真をよく見て、気づいたことや考えたことについてグループで話し合う。	・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。	・「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。	・進んで目的や進め方を確認し、学習の見通しをもってグループで話し合おうとしている。

令和5年度 評価規準

つたえたいことをはっきりさせて書こう	16	- 取材メモを上手に使って、組み立てを考えながら調べたことを文章にまとめる。 - 手紙の書き方を知り、目的に合わせた手紙を書く。	- 丁寧な言葉を使っているとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。 - 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。	「話すこと・聞くこと」において、必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもっている。 「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をついたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。 「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。	- 粘り強く、書く内容の中心を明確にして文章の構成を考え、学習の見通しをもって報告文を書こうとしている。 - 粘り強く相手や目的を意識した表現になっているかを確かめ、学習の見通しをもって目的に合わせた手紙を書こうとしている。
漢字の広場	4	- 送り仮名は、漢字の読みや意味をはっきりさせるはたらきをもつことを理解し、漢字を正しく使う。 - 絵を見て想像したことをもとに、2年生で学んだ漢字などを使って文を書く。	- 漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使っているとともに、句読点を適切に打っている。 - 前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。	「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。	- 進んで送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使い、学習課題に沿って、漢字を正しく使おうとしている。 - 積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵の中の言葉を使って文を書こうとしている。
場面のうつりかわりに気をつけて読もう	9	場面の移り変わりや登場人物の行動、気持ちの変化などについて、叙述を基に捉える。	主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。	「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。	進んで登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し、学習の見通しをもって、登場人物の言葉を考えようとしている。

令和5年度 評価規準

ローマ字	4	・ローマ字に興味を持ち、ローマ字の書き方について理解し、ローマ字に親しみを持ち、読めるようにする。	・日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。		・進んで、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で読んだり書いたりし、学習の見通しをもって、ローマ字に親しもうとしている。
ローマ字とコンピューター	1	・コンピューターにローマ字で入力をする際に大切なことを知り、コンピューターを活用する。	・日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。		・進んで、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で読んだり書いたりし、学習の見通しをもってコンピューターにローマ字で入力しようとしている。
絵文字の特長をとらえよう	16	・身のまわりのさまざまな絵文字がどんなことを表しているかなどについて話し合い、絵文字に対する興味や関心を高める。	・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。 ・主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。 ・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。 ・比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。	・「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいく。 ・「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えていく。 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。 ・「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。	・進んで集めた材料を比較したり分類したりして、学習の見通しをもって、グループで話し合おうとしている。 ・積極的に、文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち、学習の見通しをもって、身のまわりの絵文字について説明する文章を書こうとしている。 ・積極的に目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たし、学習の見通しをもってグループで話し合おうとしている。

令和5年度 評価規準

気持ちを伝える話し方・聞き方	4	・言葉にはいろいろな意味がこめられることを知り、気持ちが伝わる話し方・聞き方について考える。	・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。	・「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるように話の構成を考えている。	・進んで、言葉には考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付こうとし、見通しをもって、気持ちを伝えるための話し方・聞き方について考えようとしている。
漢字の広場	4	・へん、つくりなどの漢字の構成についての知識を得て、漢字を正しく読んだり書いたりする。 ・絵を見て想像したことをもとに、2年生で学んだ漢字などを使って文を書く。	・漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解している。 ・前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。	・「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。	・進んで、漢字がへんやつくりなどから構成されていることについて理解し、学習の見通しをもって、漢字を正しく読んだり書いたりしようとしている。 ・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵の中の言葉を使って文を書くようとしている。
登場人物の気持ちをそうぞうしながら読もう	8	・会話や行動に注意して、豆太やじさまの気持ちの変化を想像し、物語のおもしろいところを紹介する。	・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。 ・幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。	・「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 ・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。	・積極的に、文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち、学習の見通しをもって物語のおもしろいところを紹介しようとしている。

令和5年度 評価規準

「おすすめ図書カード」を作ろう	6	・自ら作品を選び、自分で課題を決めて読書をする。 ・「おすすめ図書カード」を作り、本を紹介し合い、さまざまな本を読む。	・相手を見て話したり聞いたりしているとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。 ・幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。	・「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。 ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。	・積極的に文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、学習の見通しをもって、「おすすめ図書カード」で本を紹介し合おうとしている。
こそあど言葉	1	・指示語のはたらきを理解し、適切に使う。	・主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。		・進んで指示する語句の役割を理解し、学習課題に沿って、指示する語句を適切に使おうとしている。
はっとしたことを詩に書こう	5	・身近なこと、想像したことをもとに、表現を工夫して詩を書く。	・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。 ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、文章の中で使っているとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。	・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。	・積極的に書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって詩を書こうとしている。

令和5年度 評価規準

ことわざ・慣用句	4	・ことわざや慣用句の意味を知り、ふだんの生活の中で使うことができるように、カードを作る。	・長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使っている。	・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。	・積極的に、長い間使われてきたことわざや慣用句の意味を知り、学習の見通しをもってカードにまとめようとしている。
詩を楽しもう	2	・音読したり、イメージを広げたりして、詩の世界を楽しむ。	・文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。	・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。	・進んで、情景について具体的に想像し、学習の見通しをもって音読したりイメージを広げたりしようとしている。
調べて発表しよう	7	・町の行事について調べ、図や写真、表など、資料を選んで発表する。	・相手を見て話したり聞いたりしているとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。 ・比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。	・「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。	・進んで話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫し、学習の見通しをもって、資料を使って発表しようとしている。

令和5年度 評価規準

文の組み立て	2	・主語と述語や修飾語との関係を理解して、文の組み立てを捉える。	・主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。		・進んで主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係について理解し、学習の見通しをもって、文の組み立てを捉えようとしている。
漢字の広場	4	・かんむり・あしなどの漢字の構成についての知識を得、漢字を正しく読んだり書いたりする。 ・絵を見て想像したことをもとに、2年生で学んだ漢字などを使って文を書く。	・漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解している。 ・前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。	・「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。	・進んで、漢字がへんやつくりなどから構成されていることについて理解し、学習の見通しをもって、漢字を正しく読んだり書いたりしようとしている。 ・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵の中の言葉を使って文を書こうとしている。
図や写真と文章を、むすびつけて読もう	7	・段落のつながりに気をつけながら写真と文章を結びつけて読み、考えたことをまとめる。	・主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。 ・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。	・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。 ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。	・進んで、文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち、学習の見通しをもって友達と感想を交流しようとしている。

令和5年度 評価規準

十二支と月のよび名	1	・暮らしの中に今なお使われている昔からの言い方について知り、さまざまな言葉を探して感じたことを書く。	・長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使っている。		・積極的に、長い間使われてきた十二支や月の呼び名を知り、学習の見通しをもって、今の暮らしの中に残る昔からの言い方を見つけようとしている。
つたえたいことの中心を明らかにして書こう	8	・身近な生活の中から自分に合った題材を見つけ、段落相互の関係を考えながら、中心になる場面をはっきりさせて文章を書く。	・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、文章の中で使っていると同時に、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。 ・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。	・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 ・「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。 ・「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。	・粘り強く間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして文や文章を整え、学習の見通しをもって、思い出に残っているできごとについて文章を書く。
漢字の広場	4	・漢字二字の言葉の構成について、問題を解きながら確認し、二つの漢字のつながり方を考える。 ・絵を見て想像したことをもとに、2年生で学んだ漢字などを使って文を書く。	・前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。	・「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。	・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、漢字二字の言葉の構成について考えようとしている。 ・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵の中の言葉を使って文を書くようとしている。

令和5年度 評価規準

登場人物の気持ちのうつりかわりを読もう	10	・登場人物の心の動きを想像しながら、消えていったおにたに手紙を書く。	・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。	・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。 ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。	・進んで文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち、学習の見通しをもって、登場人物に宛てて手紙を書こうとしている。
国語の学習	2	・一年間の国語学習を振り返ったり、これからの学習について考えたりして、すすんで学習できるようにする。	・相手を見て話したり聞いたりしているとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。	・「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 ・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。	・積極的に伝え合うために必要な事柄を選び、今までの学習を生かして、1年間の国語の学習を振り返ったり次年への希望を話し合ったりしようとしている。